

**大腸癌や腺腫性ポリープ患者では
血清ガストリン値が上昇している**

Elevated gastrin levels in patients with colon cancer or adenomatous polyps: *Smith JP, et al* (Dig Dis Sci 34: 171-174, 1989)

ガストリンは実験動物での発癌物質誘発大腸癌および, *in vitro*でのヒト大腸癌やヌードマウスに移植したヒト大腸癌の成長を促進することが知られている。

著者らはこのことを踏まえ, 大腸癌や大腸の腺腫性ポリープを有する患者の空腹時血清ガストリン値が対照群に比して異常な値をとっているのか否かを検討した。

検討対象を便潜血検査陽性のため大腸ファイバースコープを施行した症例とし, 採血を行ったが, データ

解析対象例は盲腸まで観察し, しかも前処置が良好な症例で, 消化性潰瘍や炎症性大腸疾患歴, 手術歴, H₂ブロッカー服用歴のない症例とした。

空腹時血清ガストリン値は, 腺腫性ポリープ患者 (25 例) では 24.2 ± 5.7 pM, 大腸癌患者 (20 例) は 84.5 ± 28.5 pM であったのに対し, 対照群 (28 例) は 9.9 ± 0.9 pM であった。腺腫性ポリープや大腸癌例が高値を示したのは, 腺腫性ポリープの 9 例が $19.9 \sim 150.2$ pM, 大腸癌の 8 例が $20.7 \sim 403.2$ pM と高い値をとっていたためであった。

大腸癌 20 例のうち 4 例が腺腫内癌であった (2 例は *in situ*) が, そのうちガストリン値が高かったのは 1 例であった。また, stage 別では, Dukes A は 9 例中 4 例が, Dukes

B は 5 例中 2 例が, Dukes C は 6 例中 2 例が血清ガストリン値の上昇を示していた。

腺腫性ポリープの大きさは 2 mm から 2.5 cm 大まで様々であったが, 2 mm のポリープ例のガストリン値が 25.52 pM であったのに 2.5 cm のポリープのそれは 12.96 pM であった。

そこで, 著者らは血清ガストリン値の上昇の原因や, ポリープあるいは腫瘍の成長に与えたガストリンの役割はまだ不明ではあるが, 大腸の腺腫性ポリープや癌を有する患者の中に血清ガストリン値が上昇している例があることを示唆し, 今後更に研究していく価値があると述べている。

(愛知県がんセンター内視鏡部

伊藤克昭 抄)